



見えないところで、
信頼を支える
臨床検査

患者さんの検査結果は、 こうして届けられています

採血や採尿等検査後、普段見えないところでどのようなことが行われているのでしょうか。実は、検査結果が医師に届くまでには、**何度も確認を重ねる工程**があります。

01. この検体(血液や尿などの検査材料)に取り違いはないか、正しく採取されているか、正しく輸送されているか
02. 検査機器は正常に動いているか
03. 検査結果に異常な値はないか

check

いくつもの工程を確認しながら、診療に安心して使える検査結果を医師へ届けています。



私たちが日々取り組んでいる臨床検査業務は、診療を支える重要な基盤です。

これまで患者さん一人ひとりに信頼いただける検査結果を提供するため、日々の業務を見直し、改善を積み重ねてきました。

これからも臨床検査科の基本方針である「**臨床検査技師としての自覚を持ち、正確で迅速なデータを提供する**」「**患者さんの立場に立って痛みのわかる臨床検査技師を心がける**」に基づいて、地域の皆さまに安心・安全な医療を提供できるようにスタッフ一丸となって努めてまいります。

今回のISO 15189認定取得は、ゴールではなく、新たなスタートです。
今後とも臨床検査科をよろしくお願いいたします！



小林 宏正
こばやし・ひろまさ
臨床検査科 科長補佐

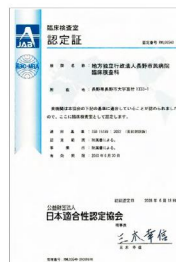


知っておきたい

医療の知識 vol.94

臨床検査の品質マネジメントと技術的能力に関する国際規格

ISO 15189を取得しました！



ISO 認定登録証

長野市民病院臨床検査科は、2026年6月18日付で臨床検査室の品質と技術能力に関する国際規格 **ISO 15189** の認定を取得いたしました。

臨床検査は、診断や治療方針の決定、治療効果の判定など、医療のあらゆる場面を支える重要な役割を担っており、**ISO 15189** は、検査結果の正確性や信頼性を確保するために、検査前・検査中・検査後までを含めた品質管理体制と、臨床検査室の技術能力について第三者機関が厳格に評価する国際規格です。

今回の認定取得は、当院の検査体制が国際的な品質基準を満たしていることが認められたものであり、患者さんにより安心して検査を受けていただくための



【臨床検査科・病理診断科のスタッフ】

1列目、左から2番目 草間由紀子病理診断科部長、3番目 笠井俊夫臨床検査科部長、
4番目 笠井大助臨床検査科科長

大きな一歩となりました。今後も臨床検査科は、「高度で良質、安全な医療」を提供するという理念のもと、検査の品質向上と継続的な改善に取り組み、地域の皆さまに信頼される医療を提供してまいります。

ISO 15189 認定で何が良くなるの？

①信頼できる
検査結果



検査前から結果の報告まで、全ての工程を厳しく管理し、信頼できる結果をお届けします。

②検査の質を
毎日チェック



毎日、機器や試薬の精度や検査の正確さを確認し、常に安定した検査を行っています。

③機器や環境を
適切に管理



検査機器の点検、試薬の管理、検査環境の整備など、安全に検査を行うための仕組みを整えています。

④技術・知識の
継続的向上



検査科職員は学会や研修会への参加に加え、ISO 15189 に基づいた教育・訓練を受けています。

⑤問題が起きても
直ぐに改善



原因を究明し、再発を防ぐために改善を続ける体制が整っています。